

農協だより

2022 1月
No.607

たいき

謹賀新年

青年部
酪農体験事業
8ページ



女性部
エルダー定例交流会
9ページ



女性部
すずらん会ヨガ体験
9ページ





農業・地域経済の回復と 新たな「第10次地域農業振興計画」の達成を願って

大樹町農業協同組合

代表理事組合長 坂井 正 喜

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。
また、日頃より事業運営に対し、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、一昨年より発生しました新型コロナウイルス感染症ですが、早期収束を願って参りましたが、全国的に春先より感染者が増大した事により「まん延防止等重点措置」更には5月中旬からは「緊急事態宣言」が発出される事態となりました。一時は減少を辿りましたが再び8月下旬より1ヶ月以上にも及ぶ「緊急事態宣言」となりました。その間、ワクチン接種が開始されたこともあり、10月には宣言解除に至りましたが、国内の経済状況は一昨年に増して厳しく、農業分野においても外食産業を始め、家庭内消費の低迷といった影響を大きく受け、問題は深刻化しました。乳製品に限っては、国内生乳生産が堅調に推移した事もあり、脱脂粉乳・バター在庫水準は大きく増加せざるを得なくなりました。強いては、まさにこの時期から懸念されます非常需要期の処理不可能乳発生回避に向け、需要の確保、乳業の処理協力、消費拡大対策等、全国的な連携対策が求められ、道内酪農家には生産抑制の協力をお願いする事態にもなりました。また、本年の生乳生産につきましても、前年目標数量を上限とした生産枠が設定される事となり、飼料費、燃油費等が高騰する中では、経営収支に影響を受ける事が推察されます。一刻も早い清浄化が図られ、国内農業はもとより地域経済が従前の回復となることを期待するところであります。組合

役員

専務理事 太田 福 司

理 事 西 川 久 雄

理 事 山 下 善 一

理 事 水 野 義 博

理 事 畔 木 主

理 事 山 下 益 雄

理 事 浅 野 邦 雄



年頭のご挨拶

員皆様の生産基盤の更なる強化と協同の力を更に結集し、この難局を乗り越えて参りましょう。

このような状況の中、昨年の農畜産物の生産をみますと、雪解けが早く春作業は順調に進み、一番草は良質粗飼料の収穫となりました。その後は高温干ばつの影響もあり二番草は、収量・品質ともに例年を下回る状況となりましたが、飼料用コーンにおいては倒伏被害もなく良質粗飼料が確保できました。生乳生産は、前年比で4%を上回る進捗となり組勘年度計画118、550tに對しまして、120、445tの実績となり振興計画目標でありました12万トン（生乳年度）の達成が見込まれますことは、偏に生産者各位の日々のご努力の賜と、深く敬意を表するところで御座います。

一方、畑作物におきましても、小麦は開花時期の天候に恵まれ製品11・4俵と過去最高の収量を記録し、馬鈴しょは高温干ばつの影響はあったものの平年並み、てん菜はクラストでの欠株が散見されましたが、その後の回復を見せ平年並み、小豆では倒伏により小粒傾向と品質低下を招き平年を下回りましたが、総じて平年作を確保した一年でありました。本年が天候に恵まれ、実りの秋となることをご祈念申し上げます。

さて、昨年は第30回J A北海道大会が開催され、大会で掲げられました、「北海道550万人と共に創る力強い農業と、豊かな魅力ある農村」の更なる実現に向け、共に取り組んで参りましょう。また、当組合におきましても、「第9次地域農業振興計画」が終了し、「第10次地域農業振興計画」のスタートの年となります。第9次計画の検証を含めて、新たな振興計画を策定し、計画の達成・実現に向けて邁進する所存で御座います。組合員皆様におかれましても、一層のご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

農業を取り巻く情勢は、近況からも決して予断を許さない状況が続いておりますが、この時こそ協同の力を以て更に結集・団結し、組合員、J A、そして系統組織や関係組織・地域が一丸となり、更なる大きな目標の達成に向け共に進んで参りましょう。

最後に、令和4年が組合員の皆様にとって、輝かしく実り多い一年となることをご祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

代表監事 坂根昌幸

監事 藤原幸一

常勤監事 河村俊彦

参事兼務理事 角屋貴之

他職員一同

酪農部会長 田中伸一

畑作部会長 立川敏広

園芸部会長 高場得光

種子生産部会長 菊地繁雄

和牛生産改良組合長 岡本透

年頭のご挨拶



北海道農業協同組合中央会
会 長
小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうござ
います。

組合員並びに役職員の皆様には、
コロナ禍にあつてもその苦境にも
負けず、日々営農に更に邁進され
ておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社
会の発展に向け、日頃より多大な
ご尽力をされていることに対してい
ても、改めて敬意と感謝を申し上げ
る次第であります。

昨年の本道農業につきましては、
春先は天候に恵まれ順調に推移し
たものの、7月～8月にかけての
長期間の猛暑や少雨による干ばつ、

また、9月に発生した雹や大雨に
より、一部の地域や作物によつて
は、生育が大変、心配されたもの
の、おおむね平年作を確保するこ
とができました。

しかしながら、一昨年から引き
続き、新型コロナウイルスとの戦
いが長期化し、今までの日常とは
大きく変化した1年でありました。
農業分野においても例外ではなく
各種イベントの自粛、外食の需要
減少等の影響により、各作物の消
費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえ
た、国産・道産農畜産物の需要喚
起・消費拡大を図るとともに、外
国人技能実習生が入国にも影響が
あり、農作業の人材確保にも大き
な課題となっておりますので、北
海道、全国連とも連携し、JAG
グループ北海道としてしっかりとそ
の対応を図つてまいります。
昨年は第30回のJ A北海道大会
を開催し、「北海道550万人と

共に創る『力強い農業』と『豊か
な魅力ある地域社会』の達成」と
いう将来ビジョンが決議されまし
た。

コロナ禍やデジタル化への対応、
SDGsへの貢献、信用・共済事
業をはじめとしたJ A経営を取り
巻く事業環境への対応など、北海
道農業、J Aグループ北海道を取
り巻く環境が急激に変化しており、
このような環境に適応していくに
は、改めて、協同組合運動の原点
である「対話」を通じて、実践方
策を設定し、実践と改善をくり返
すことで、変化の波をJ A運営に
取り込んでいくことが必要であり、
組合員・役職員が一丸となつてし
っかりと取り組んでいくことが重
要となります。

結びになりますが、本年は壬寅
年です。十干の「壬」は陽気を下
に宿するという意味を持つており、
生命の誕生を宿す意味を表します。
一方、十二支の「寅」にも壬と同

様で、草花が伸びようとする状態
を表しています。この謂われにあ
やかり、本年が豊穰の年となるこ
と、新型コロナウイルスの1日も
早い終息と皆様のご健勝をご祈念
申し上げ、年頭のご挨拶といたし
ます。



令和4年の年頭にあたり



J A 大樹町青年部
部長
高 松 佑 樹

年頭のご挨拶

昨年から続くコロナ禍に負けずに

新年あけましておめでとうございます。組合員、盟友の皆様におかれましては、晴れやかな気持ちでよい新年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

昨年は一昨年から続く新型コロナウイルスCOVID-19の影響により盟友同士の交流がなかなかできず、ほぼ役員のみのお人数での行事開催となりました。

コロナ禍でも小学校での食育は開催回数を減らすことなく行うことができました。本年度はジャガイモ4種類、大豆3種類、ミニトマト、ポップコーン、キ

ャベツの作付けを行いました。

特にジャガイモは成長の様子や収穫作業体験をしつつ、トヨシロというポテトチップスとしてメジャーな品種を収穫後にその場で調理して食べるという、生産から消費までを食育として伝えられたと感じております。

酪農体験では半谷牧場を見学してもらい、町の基幹産業にふれてもらう機会をつくることができました。

町内の保育園児を対象にした農業体験では例年通りのバターづくりや模擬搾乳、トラクター試乗体験を通して少しでも農業について興味を持ってもらえた活動になったかと思えます。

部長の私が主導で進めている活性化事業では大樹町ホップにおける試作ビールの作成やさつまいもの試験栽培をほぼ形にすることができました。さらにブラッシュアップを続けて青年部を象徴するものにしていければ

と思います。

一年を通して部員やその家族の皆様には青年部活動を支えて頂いておりますが今後ともご理解を賜りますようお願い致します。

最後になりますが残り僅かな任期となり、このコロナ禍の中でも中止という判断だけではなく、どうすれば活動できるのかの模索を止めずに多くの部員が楽しく活動できるように次年度につなげていければと思います。どうぞよろしくお願い致します。



役員

部長	副部長	副部長	理事	理事	理事	監事
高松 佑樹	阿部 真基	半田 祐介	山口 寿斗	森下 周平	水野 智貴	半谷 勇人
菊地 陽介						

年頭のご挨拶



J A 大樹町女性部
部長

辻 本 薫

新年あけましておめでとう
ございます。新しい年を迎え、
皆様に謹んでご挨拶申し上げます。

また日頃よりJ A女性部活
動に對しまして、女性部員の
皆様、J Aをはじめ各関係機
関の皆様には温かいご支援ご
協力を頂き心より御礼申し上
げます。

令和四年寅年

とっても良い一年になるよう
ラッキーな事がたくさんあり
どんどん色々な事に挑戦し
しんげんに日々笑顔を絶やさ
ず仕事に励んで行きたいと思

います。

さて、女性部活動を振り返
りますと新型コロナウイルス感
染拡大を受け自粛生活が長く続
き、日常が大きく変わってしま
いましたが、ようやく少しずつ
活動を再開できるようになっ
てきた事にとっても希望が持
てる様になり、明るい気持ちで
新たな一年を踏み出すことが
できそうです。

昨年予定していた視察研修
旅行は、中止とし手作りキッ
トを配付しました。

環境美化運動として花の寄
せ植えセットを各家へ持ち帰
り頂き、料理講習会も講習の
みとし、冬期運動会、生活健
康講座も規模縮小し、安全確
保の上、三密を避け、活動して
いく方向で進めている所です。
なおまだ不安定な状況が続
いているため、しあわせ会は
中止とさせて頂き、食育料理

講習会を例年ですと小学生を

対象として牛乳を使用した料
理をいっしょに作り、試食す
る所を、牛乳を使ったレシピ
とミルメーク、マスクケースの
配布へと代替案で進めました。

今まで経験した事ない、予
測できない、目に見えない、
しかし確実に身近に有ったコ
ロナウイルス感染に対応しな
がら、これからも部員及び家
族の安全を第一に考え、役員
支部長協力のもと活動して行
きたいと思っています。なお
定期総会につきましては3月
に予定をしております。

J A女性部活動に對しまし
て、日々のお忙しいお仕事
中、家族の理解、地域のみな
さまの協力を頂き、より一層
気を引き締めて頑張ります。
コロナ自粛で学んだ、家族
や大切な人に会いたい、話を
したい、という普通だったあ

役員

部長	辻 本 薫
副部長	水 野 優 美
理事	内 田 真 美
理事	片 岡 一 穂
監事	高 場 君 子
監事	今 村 真 由 美

たりまえを我慢した日々をバ
ネに、より大きな笑顔で新年
を過ごしたいと思ひます。

最後になりましたが、皆様
のご健康と豊かな実りの年と
なりますことを心からご祈念
申し上げます、新年のご挨拶とさ
せていただきます。

＝ コロナ禍でできる活動を



大樹町農民協議会
会 長
水 下 英 治

年頭のご挨拶

激動の世界とコロナに負けない経営力を

新年明けましておめでとう
ございます。

盟友の皆様には、ご家族と
共に新年を迎えられましたこ
とを心よりお慶び申し上げま
す。

昨年もコロナウイルスの中
自粛もあり、我慢の日々だっ
たと思います。ワクチン接種
が広まり国内では減少へと向
かいましたが、度々の変異株
に気の休まることがなかった
と思います。

その中酪農においては多少
の天候不順はありましたが、

良質な粗飼料が確保でき、乳
量は堅調な伸びになりました。

しかし、バター等の在庫過大
により生産調整への懸念も出
ました。

農産においては千ばつの影
響等もありましたが、平年並
みの収穫となりました。

当協議会においては、十勝、
全道の盟友と友に活動を行っ
ておりますが、緊急事態宣言
の期間が長く、昨年よりモー
トによる要請が多くなりまし
たが、11月によりやく対面に
よる要請が出来ました。

その中で国内外の経済状況
の変化、中国のTPP参加申
請、米国バイデン大統領の動
向等注視する点が多くありま
した。国内においては、岸田
内閣の発足によりコロナ対策
もありながら経済対策もと不
安もある状況となりました。

また、労働力不足や原油、
経営物資の高騰等、農業経営
に不安の残る年になりました。

本年もコロナ禍の中、世界
の動向を注視しながら当協議
会は、十勝・北海道農民連盟
の一員として農家やJA大樹
町、また関係機関等、機能が
損なわれないよう強く求める
活動を行いたいと思います。

不安な世の中ではあります
が、農業者にとつて良き農政
になるように取り組んでいき
たいと思いますので、盟友の
皆様にはご理解とお力添えを
お願いしたいと思います。

今年は皆様にとつて良き年
となりますよう、ご健勝とご
多幸を祈念申し上げます、新年の
挨拶とさせていただきます。

役 員

会 長	水 下 英 治	地区執行委員 ／酪対委員
副 会 長	鈴 木 輝 彦	税対委員長 (青申会長)
副 会 長	白 取 雄 二	酪対委員長
事 務 局 長	村 瀬 正 紘	畑対委員長
常 任 委 員	森 田 稔	酪対委員
常 任 委 員	堀 敏	酪対委員
常 任 委 員	廣 瀬 洋 司	酪対委員
常 任 委 員	白 石 慎 一	畑対委員
常 任 委 員	戸 梶 伸 一 郎	税対委員
常 任 委 員	村 崎 隆 一	税対委員
代 表 監 事	辻 本 洋 平	畑対委員
監 事	鈴 木 和 昭	税対委員
監 事	坂 本 裕 二	畑対委員

青年部

小学校酪農体験事業

―半谷牧場で酪農体験―

11月8日、半谷克幸牧場（中島農事組合）において、小学校3年生43名を対象とした酪農体験事業を行い、部員5名が対応した。

生徒を3グループに分け、1グループずつ搾乳施設で酪農作業について説明を行い、他の2グループは、哺育舎で牛について説明を行なった。

搾乳施設では、パーラーでの牛の流れや搾乳機器、バルククーラーについて説明し、哺育舎では牛を群飼いし成長

に応じて移動させていることを説明した。一通り説明が終わった後は、3人一組となり子牛の哺乳の体験をしてもらった。

普段あまり関わるこの新しい牛を見て児童たちは目を輝かせて楽しそうに哺乳作業をしていた。

今回の事業では、大樹町の主産業である酪農を児童達に体験してもらい、より一層農業に対して理解が深められたことに部員たちは満足していた。



半田副部長によるあいさつ



機械に興味津々の児童たち



哺乳体験



牛についての説明

農業経営塾

―視察研修の実施―

J A大樹町では、11月18日に農業経営塾にて管内視察研修を行なった。

受講生、農協職員あわせて8名が参加し、新得町の新規就農者の木島進牧場と重盛峻介農場を視察した。

木島牧場は、令和2年10月に営農を開始。新規就農のため保有している土地が少なく、TMRセンターを利用しての給餌をしている。

また、除糞回数を1日8回程度と多くすることで衛生面に気を使い、牛が健康に過ごせる環境づくりに力を入れている。

重盛農産では、令和2年1月より営農を開始。ひとり農業のため、省力化を目指し、1年目大豆↓2年目小麦↓3年目そば↓4年目デントコーンといった輪作体系となっている。

新得町にはバイオガスパラントが2基ありそこの消化液を活用し、肥料費を削減している。

ている。

今回視察した2件とも新規就農であり、自分たちとは少し違った経営体系に受講生たちは驚きを見せながら経営者の話に耳を傾けていた。



木島牧場



重盛農産

女性部

エルダー定期交流会

J A女性部（辻本薫部長）エルダーミセスでは、11月5日、J A会議室において定例交流会を実施。

パラリンピックの正式競技で、先の東京パラ五輪では日本代表が大活躍した球技「ボッチャ」を体験し、7名の参加者たちは手軽ながらもゲーム性の高い同競技を満喫していた。

講師に大樹町教育委員会社会教育課、

森博之氏に依頼しボールの投げ方、試合の流れを解説してもらい、その後グループに分かれ実戦。

白いボール（ジャックボール）を目標球として投げ、赤・青それぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツ。参加者は投げ方の練習などを重ねゲームを進める中、思い通りに投げられ喜び合うなど魅力あるスポーツを楽しんでいた。



ルール説明を受ける様子



ジャックボールを狙う参加者



採点の様子

女性部

ずららん会

— ヨガ体験会 —

J A女性部ずらん会（穀内美希会長）は、11月9日J A会議室において、健康増進を目的に「ヨガ体験会」を実施。

講師に全国各地で活躍されている、ヨガデザイナー北海道の角畠あさみさんを迎え、8名の参加者はヨガ独特の呼吸法やヨガを学んだ。

呼吸法は普段の呼吸とは異なり鼻から吸ってゆっくり吐ききることと体をほぐしリラックスすることができると吐ききることが最初、苦戦したが徐々に

来るようになった。

農作業や、子育てで普段コリを感じている肩周りや、骨盤周りのストレッチを行うと悲鳴があがったが、徐々にほぐれていくのを実感した。また、ダイエット効果のある有酸素運動では仰向けになり足こぎを行なうなど様々なヨガを体験した。最後は瞑想の時間で会場の明りを落としヒーリング音楽を聴きながらリラックスし、一時間程度のヨガ体験会を終えた。



タオルを使ってストレッチ

赤潮被害に対する

大樹漁業協同組合への

支援について

十勝などの太平洋沿岸で、赤潮が原因とみられる漁業被害が深刻化しています。

大樹町においても養殖サクラマスがほぼ全滅状態になるなど甚大な被害が発生しています。「同じ第1次産業を営む者として支援できることがないか」と理事会で協議した結果、大樹町を経由し支援金100万円を寄付しましたので報告いたします。

ベトナム実習生 ごみ分別講習の実施

J A 大樹町では、11月17日にベトナム技能実習生を対象にごみ分別研修を行った。

大樹町役場住民課住民活動係 近藤量政氏を講師に招き、ごみの種類や大樹町におけるごみの分別方法などを説明した。説明のあと、事前に用意したごみを技能実習生に分別してもらうクイズを行った。

実習生たちからは様々な質問が飛び交い、とても有意義な研修となった。



講習のようす

大樹町 ジュニアホルスタインクラブ 交流会の開催！

大樹町ジュニアホルスタインクラブでは、11月6日、J A 会議室において交流会を開催した。8名のこども達と7名の保護者が参加し、吉田貴幸会長の挨拶の後、こども達による自己紹介を行った。

例年であれば4月に顔合わせを行うが、コロナ禍ということもあり今年度初めての顔合わせとなった。

最初は緊張が見られたが、ビンゴゲームが始まると緊張も解け、大盛り上がりだった。最後に全員で写真撮影を行い終了した。



みんなで記念撮影！

電子端末機操作研修会

11月15日、J A 大樹町会議室において8名の参加者のもと電子端末機操作研修会を開催した。今回の開催は近年の携帯電話、電子端末の活用により情報収集が多様化し利便性が高くなる一方で、操作方法が複雑化していることを鑑み疑問、不安を解消する目的で行なわれた。

企画管理課池浦課長が講師になりスマートフォンとガラケーの違いやスマートフォンの基本的な操作手順や用語を説明した後、参加者は持参したスマートフォンを使いJ A 大樹町のWiFiの設定を行い、J A 大樹町のホームページを紹介した。その後、個別に質問を受け、日頃疑問に思っている操作を講師に聞き手順を確認するなど有意義な研修会となった。



J A のホームページや便利なサイトを紹介

年末・年始の組合業務

は営業日

月 日	12/29	12/30	12/31	1 / 1	1 / 2	1 / 3	1 / 4	1 / 5	1 / 6	年末仕事納め	年始仕事始め
部 門	水	木	金	土	日	月	火	水	木		
企 画 管 理 課										12/29 17:00	1 / 6 (木)
経 営 相 談 課										12/29 17:00	1 / 6 (木)
貯蓄共済課(貯金)										12/30 17:00	1 / 4 (火)
貯蓄共済課(共済)										12/29 17:00	1 / 6 (木)
酪 農 振 興 課										12/29 17:00	1 / 6 (木)
(生乳検査業務)		8:30~12:00								12/29 17:00	1 / 6 (木)
畜 産 販 売 課										12/29 17:00	1 / 6 (木)
生 産 改 良 課											
農 産 販 売 課										12/29 17:00	1 / 6 (木)
生 産 資 材 課										12/29 17:00	1 / 6 (木)
燃料課	セルフ給油所		17:00		8:30~17:00	8:30~17:00				12/31 17:00	1 / 2 (日)
	カーケアセンター								8:30~17:00	12/29 17:00	1 / 6 (木)
農 機 車 両 課										12/29 17:00	1 / 6 (木)

授 精 業 務	12/31~1 / 3の授精出動は午前7時30分より、授精受付は午前11時までとなります。
生 乳 検 査 業 務	12/31、1 / 3の9時まで搬入したサンプルは体細胞・抗生物質共に当日検査 12/30、1 / 1・2・4・5の午前9時まで搬入した分は、抗生物質検査のみ当日検査
生 乳 集 荷 業 務	平常どおり
初 生 ト ク 集 荷	年末ご用納め 12/27(月)、年始ご用始め 1 / 6 (木)
一 般 廃 用 買 付	年末は、12/24(金)と畜分で終了。年始は、1 / 6 (木)から受付します。
病 畜 処 理 場	年末ご用納め 12/24(金)、年始ご用始め 1 / 5 (水)
レンダリングプラント	年末ご用納め 12/30(木)受付 午前9時まで、自搬入は12時まで 年始ご用始め 1 / 5 (水) 死亡畜発生都度FAXで申込 (☎0155-37-4623 北海道環境衛生社)
燃料課	セルフ給油所 年末ご用納め 12/31(金)午後5時、年始ご用始め 1 / 2 (日)・3日(月) 午前8時30分から午後5時まで営業
	カーケアセンター 年末ご用納め 12/29(水)午後5時、年始ご用始め 1 / 6 (木) 午前8時30分から午後5時まで営業



2022年は寅年



今年で12歳になる寅年キッズをご紹介します。
ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



【美成地区】
こじま みもり
小島 未森ちゃん

(H22.3.30生まれ)

中学校でも吹奏楽
(ユーフォニアム)を頑張りたいです。



【東和地区】
まえざき いお
前崎 衣央ちゃん

(H22.10.6生まれ)

勉強とサッカーの
両立を頑張りたいです。



【開進地区】
おおみなみ ゆいと
大美浪 結翔くん

(H22.1.22生まれ)

勉強をサボらず自分を
成長させる1年にしたいです。

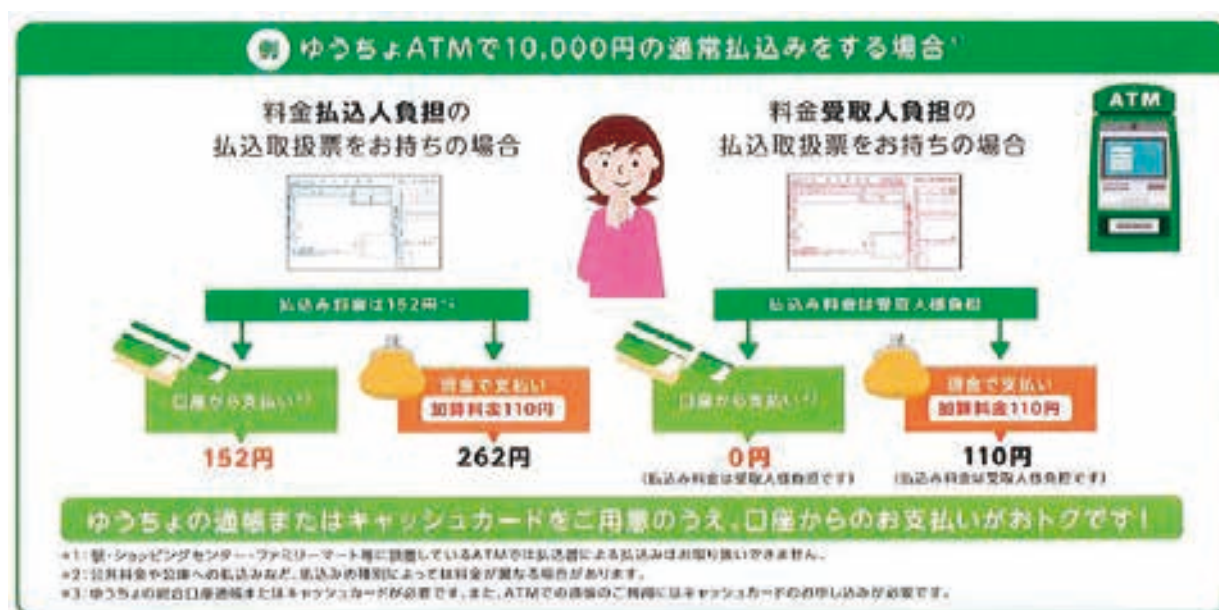
郵便振替料金改定のお知らせ

令和4年1月17日より、ゆうちょ銀行の払込サービスを利用する場合の手数料が改定されます。

○現金でお支払いの場合(例：10000円の場合)

	青い用紙(料金払込人負担)	赤い用紙(料金受取人負担)
現 行	152円	無 料
変更後	262円	110円

※通帳またはキャッシュカードを利用し、口座より直接お支払いの場合は変更はありません。



2022年1月17日(月)以降の各種払込みサービス料金(払込人様が負担する料金の一覧)

取扱内容			送金金額	口座から(通帳・カードをご利用)	現金(加算料金を含みます)
通常払込み	料金払込人負担	ATM	5万円未満	152円<71円>	262円<181円>
			5万円以上	366円<285円>	476円<395円>
		窓口	5万円未満	203円<122円>	313円<232円>
			5万円以上	417円<336円>	527円<446円>
	料金受取人負担	ATM・窓口	一律	0円	110円
ゆうちょ Pay-easy (ペイジー) サービス	料金払込人負担	ATM	5万円未満	一般：61円 公共料金：30円	一般：171円 公共料金：140円
			5万円以上	一般：285円 公共料金：254円	一般：395円 公共料金：364円
		窓口	5万円未満	一般：112円 公共料金：30円	一般：222円 公共料金：140円
			5万円以上	一般：336円 公共料金：254円	一般：446円 公共料金：364円
	料金受取人負担	ATM・窓口	一律	0円	110円
電信払込み	窓口		5万円未満		660円
			5万円以上		880円

※表中の料金は、当サービスをご利用の場合の料金を示します。※公共料金や公庫への払込みなど、払込みの種別により、料金が異なる場合があります。

※料金受取人負担の払込みは、受取人様が払込み料金を負担し、払込人様からは送金料に併せて加算料金110円をお支払いいただく必要があります。

職員紹介

今月は酪農畜産部 酪農振興課をご紹介します



後列左より 大林・齋藤・小野
前列左より 高山・大島部長・山田課長



後列左より 下元・八巻・佐藤
前列左より 打田・飯野室長

理事会の動き

第11回 11/25

★報告事項

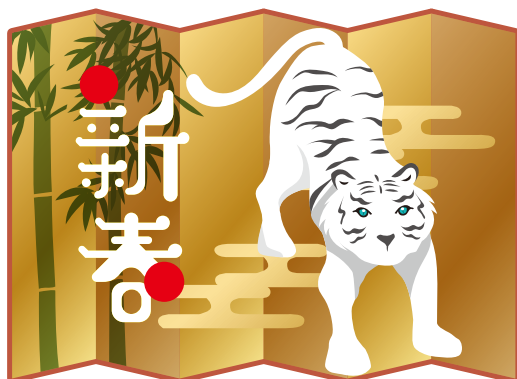
- 1 令和3年度草地更新支援事業の実施結果について
- 2 農産物集荷状況について
- 3 令和3年産大根の本清算について
- 4 投資計画について
- 5 内部監査の結果について
- 6 組合員の異動について
- 7 職員の退職について
- 8 職員の復職及び休業延長について

★付議事項

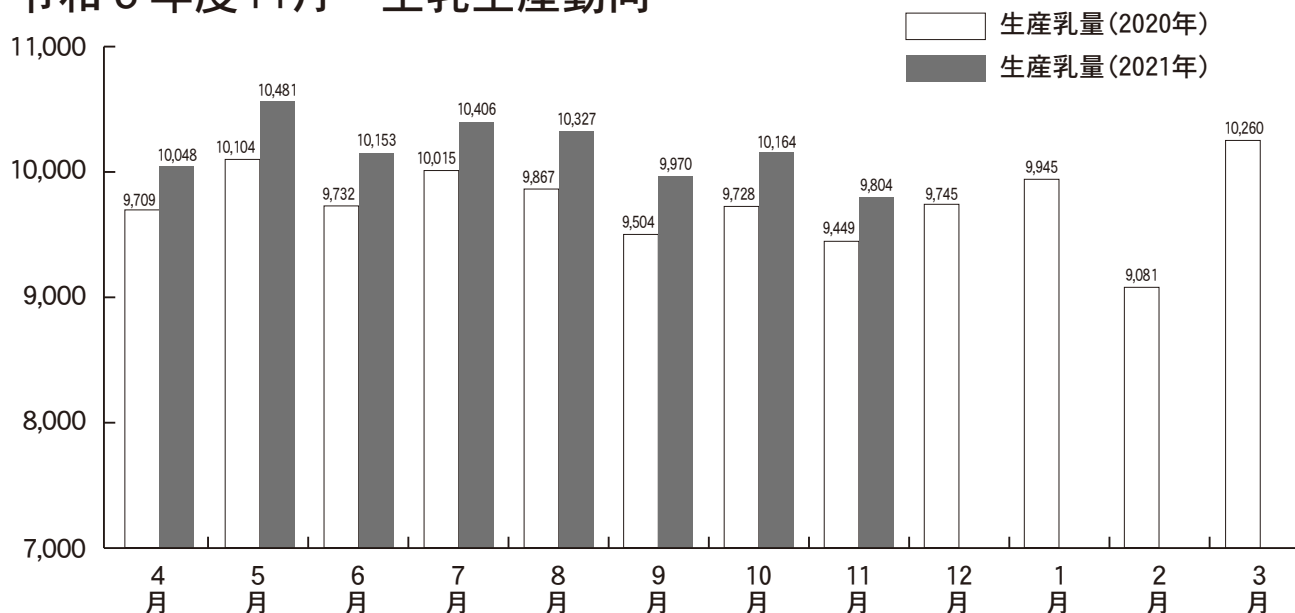
- 第1号 顧客手数料の改定について
 - 第2号 赤潮被害に係る大樹漁業協同組合への支援金について
- 協議・承認

★協議事項

- 第1 第10次地域農業振興計画・JA中期経営計画について
 - 第2 令和4年度営農の取組みについて
- 協議

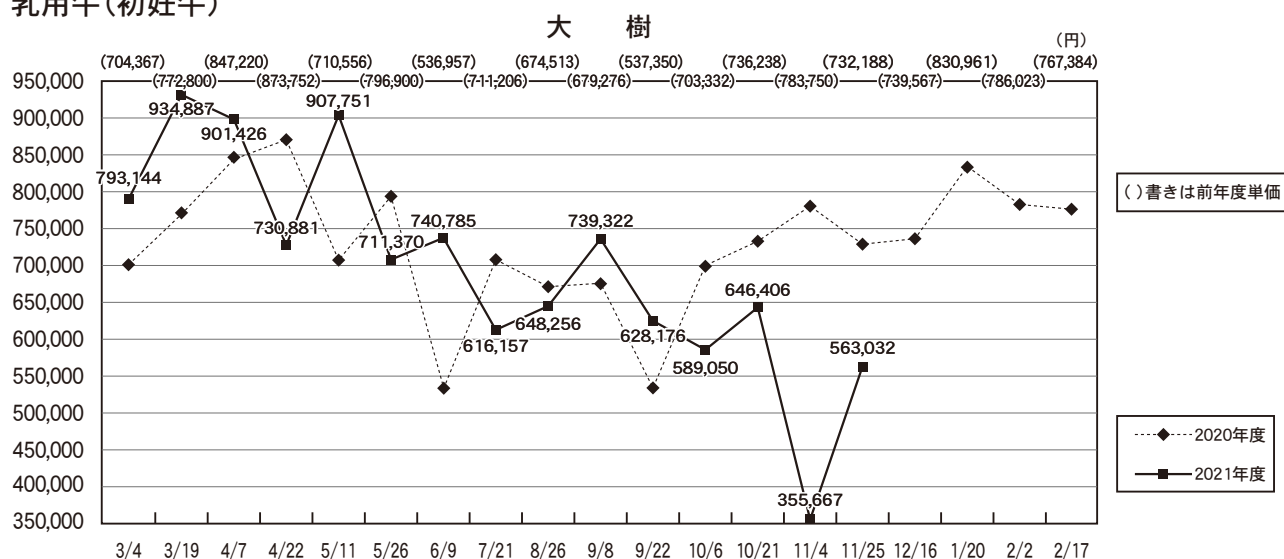


令和3年度11月 生乳生産動向

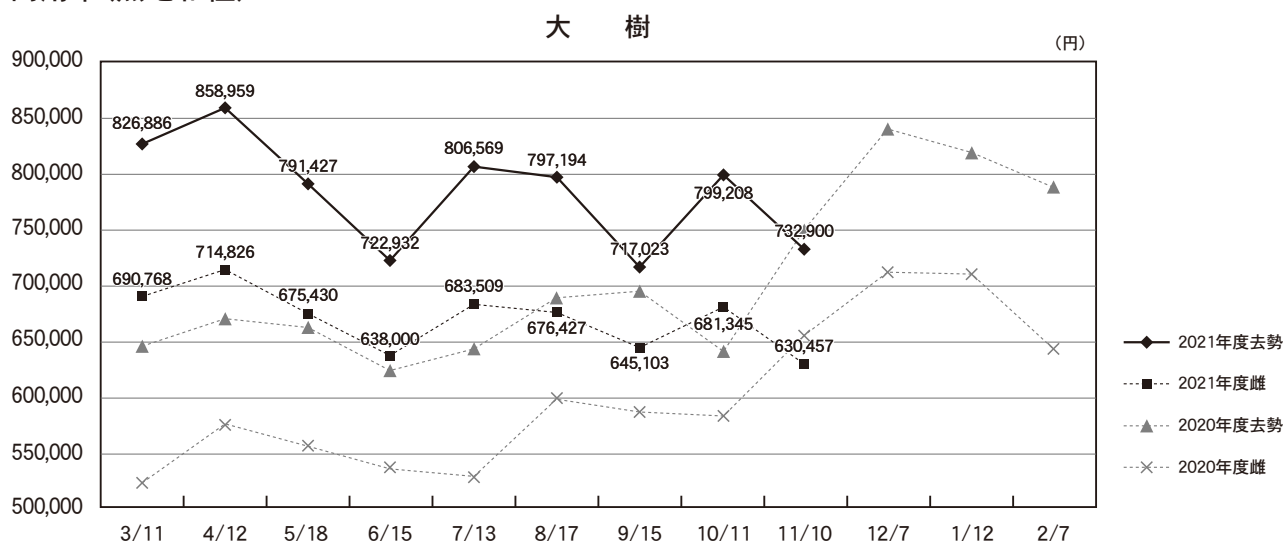


家畜市場の成績

乳用牛(初妊牛)



肉用牛(黒毛和種)



正解者10名に大樹TMOカードが当たる

頭の体操

クロスワードパズル

クロスワードパズル

タテのカギ

① オイルシヨックともいわれる——危機

③ 分度器で測ります

⑥ 栗の実のトゲトゲ

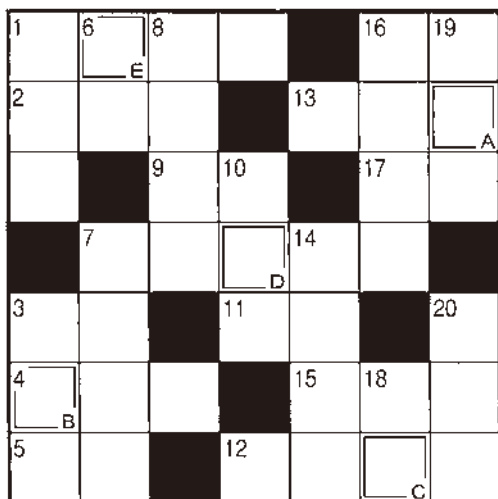
⑦ 春の七草の一つ。ダイコンのことで

⑧ 遊園地で——コースターに乗った

⑩ おでんに添える黄色い葉味

⑭ 年下の女きようだいのこと

⑯ 屋外で行うことも多い教科



ヨコのカギ

① 1月の第2月曜日は——の日。国民

の祝日です

② 旅支度で、旅行かばんに——を詰め

た

③ 下手な鉄砲も——撃ちや当たる

④ 北海道東部の市。自然豊かな湿原が

有名です

⑤ 水が混じって軟らかくなった土

⑦ これが三つで三振

⑨ 土を盛り上げて作ります

⑪ 植物の葉や車の窓などに氷の結晶が

付いたもの

⑫ 「住めば都」とか「猫に小判」とか

⑬ 果物——を使ってリングをむいた

⑮ 遠回りをすること

⑯ 初夢で見ると縁起が良いといわれる

鳥

⑰ やっぱり自分の——が一番落ち着く

なあ

12月号の答え

A B C D E
プレゼント
でした。

当選おめでとうございます

当 選 者

(上島)	宮 嶋	寿美子さん
(上島)	高 橋	秋 子さん
(上島)	坂 本	松太郎さん
(上島)	川 原	蔦 枝さん
(上島)	米 谷	歩さん
(尾田)	細 谷	絢 子さん
(尾田)	村 瀬	眞美子さん
(大光)	鈴 木	恵知子さん
(拓北)	吉 田	英 昭さん
(拓北)	原 光	莉さん

■ 解き方 II 普通のクロスワードの要領で全部を解いて下さい。

次にA→Eの二重ワクの文字を順に並べると、一つの言葉ができます。それが答えです。

■ 締切り II 1月10日(当日消印まで有効)

■ 届 出 II 本所企画管理課、生産資材課の専用投書箱へ。

■ とじ込みハガキをお使い下さい。郵送する場合は63円切手をは

つて下さい。

■ 賞 品 II 大樹TMOカード(正解者多数のときは、抽選で10

名の方に)

■ 職員とその家族の方はご遠慮下さい。

■ 12月号の応募者は16名で、全員が正解されました。抽選の結果、

次の方々が当選しました。当選した方には大樹TMOカードを

お届けいたします。

進めよう! 国消国産

進めよう!! 国消国産

国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産



【今回のテーマ】

日本人がお米を
食べなくなっ
ているのは本当?

日本人の主食として欠かせない食材ですが、
国民1人・1年当たりの消費量は、約50年で
半分以上まで減っています。



米、肉類、油脂類の
1人・1年当たりの消費量の変化



出典：農林水産省「食料需給表」2020年度
注：1人・1年当たり供給純食料を記載

ごはん茶碗1杯分(150g)で
摂取できる
同程度の栄養素

- たんぱく質……牛乳111ml
- 脂質……食パン(8枚切り)約1/4枚
- 炭水化物(糖質)……ジャガイモ小3個
- カルシウム……ごま油約0.4g
- 食物繊維……セロリ1/3本
- ビタミンB1……キャベツ大1枚
- 鉄分……ほうれん草1〜2枚

文部科学省「七訂日本食品標準成分表」
より算出による

お米の消費減少の原因は、食の多様化
による主食の変化や朝食を抜くなどさまざ
な理由が考えられる一方で、「太りそう」とい
う誤解からもきています。

お米の糖質「でんぷん」は消化吸収の過
程で血糖値の上昇を緩やかにし、体脂肪に
なりづらく、カロリーは脂質の半分程度であ
ることからも「太りにくい」という特徴があり
ます。

お米を炊くのが面倒……という場合は無
洗米やパックご飯なども活用して、国産米
を食べて農家を応援し、国消国産を進めま
しょう。



新そう、大地と地域の未来。

イラスト・情報コーナー

イラストは濃くていねいに書いて下さい。
(あまり薄いと掲載出来ないことがあります。)



鏡町
どさんコタクちゃんさん(7歳)



拓北
柚原 光莉さん(10歳)



拓進
鈴木 陽香さん(9歳)



ひな かさん(5歳)